

三菱電機 **ビル** 空調管理システム **共通**
三菱電機スリムエアコン用

MA スマートリモコン

形名

PAR-36MA

WT07315X01

据付工事説明書（据付編）

販売店・工事店様用

この説明書は共通 MA リモコン（三菱電機 **ビル** 空調管理システム〈直膨式マルチエアコン室内ユニット（C タイプ以降）〉用と三菱電機スリムエアコン用）の据付工事について記載しています。リモコンの操作・設定方法に関しては据付工事説明書（設定編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照してください。


この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。


- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 使用部品	4
1-1. 同梱部品	4
1-2. 別売部品	5
1-3. 一般市販部品	5
2. 使用箇所（据付工事の概要）	5
3. 据付場所の選定	6
3-1. 法規制・条例の遵守事項	6
3-2. 公害・環境汚染への配慮事項	6
3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項	6
3-4. 保守・点検に関する事項	7
4. 据付工事・電気工事	7
4-1. 建物工事の進行と施工内容	7
4-2. 届出・報告事項	7
4-3. 従来工事方法との相違	7
4-4. 据付と電気工事をする	10
4-5. サービス	14
5. 据付工事後の確認	15
5-1. 据付工事のチェックリスト	15
5-2. リモコンの設定	15
5-3. 温度センサの設定	15
5-4. 保護シートの取外し	15
6. 試運転	15
6-1. 試運転の方法	15
6-2. 試運転中の確認事項	15
7. お客様への説明	15
8. 安全に長くお使いいただくために	16
8-1. 日常の保守	16
8-2. 点検時の交換部品と保有期間	16

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。


電気配線工事は「**第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）**」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

油・蒸気・有機溶剤・腐食ガスの多いところ、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところにコントローラを据え付けないこと。


•電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

改造はしないこと。


•けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。


•ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

•感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。




ぬれ手禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

•お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。


•異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

•ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。




指示を実行

注意

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

•感電・故障のおそれあり。



使用禁止

据付工事をするときに

警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏えいのおそれがあるところにコントローラを設置しないこと。

- ◆可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。

- ◆コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

注意

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

コントローラの据付けは、販売店または専門業者が据付工事説明書に従って行うこと。

- ◆感電・火災のおそれあり。



指示を実行

"パチッ"と音がするまではめ込むこと。

- ◆はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

警告

電源配線は信号端子台に接続しないこと。

- ◆機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- ◆電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- ◆漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

注意

端子台に配線の切くずが入らないようにすること。

- ◆ショート・感電・故障のおそれあり。



感電注意

配線引込口をパテでシールすること。

- ◆露・水が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

移設・修理をするときに

警告

コントローラの分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

お願い

コントローラ設置壁面の表面付近の温度と実際の室温との差が大きい場所に据付けしないでください。

- ◆ 検知した室温と実際の室温を誤検知するおそれあり。

コントローラを病院・通信・放送設備がある所に据え付ける場合は、ノイズ対策を行ってください。

- ◆ ノイズにより医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げるおそれあり。
- ◆ ノイズにより映像放送の乱れ・雑音が生じるおそれあり。
- ◆ インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響によるコントローラの故障・誤動作のおそれあり。

コントローラを導電性があるところ（塗装をしていない金属面など）に据え付けしないでください。

- ◆ 故障・誤動作のおそれあり。

コントローラのケースから基板保護シート・基板は取り外さないでください。

- ◆ 故障のおそれあり。

ネジを締めすぎないでください。

- ◆ 損傷するおそれあり。

マイナスドライバーをコントローラのツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。

- ◆ ケースが損傷するおそれあり。

マイナスドライバーをコントローラのツメに強く差し込まないでください。

- ◆ 基板が損傷するおそれあり。

コントローラのケースに追加穴を開けないでください。

- ◆ 損傷するおそれあり。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にコントローラを据付けしないでください。

- ◆ 変形・故障のおそれあり。

コントローラの配線はクランプにはめて固定してください。

- ◆ 固定していない場合、端子台に直接力が加わり断線のおそれあり。
- ◆ 上ケースがはめ込めないおそれあり。

コントローラの配線を端子台に接続する際に、圧着端子を使用しないでください。

- ◆ 基板と接触し故障のおそれあり。
- ◆ カバーと接触しカバー損傷のおそれあり。

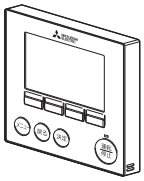
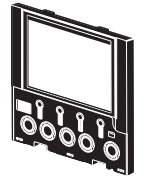
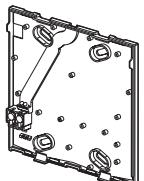
コントローラのコネクター接続後、ケースをぶら下げないでください。

- ◆ 断線し、動作に支障をきたすおそれあり。

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

箱の中には下記部品が入っています。

品名	個数(個)	外観
リモコン (意匠カバー) ※1	1	
リモコン (上ケース) ※1	1	
リモコン (下ケース)	1	

品名	個数(個)	外観
十字穴付きナベネジ M4 × 30	2	—
木ネジ 4.1 × 16 (壁に直接取付ける時使用)	2	—
据付工事説明書(据付編) 本書	1	—
据付工事説明書(設定編)	1	—
取扱説明書	1	—

※1 意匠カバーと上ケースは、はめ込まれた状態で工場出荷されます。

※2 リモコンケーブルは付属していません。

1-2. 別売部品

特にありません。

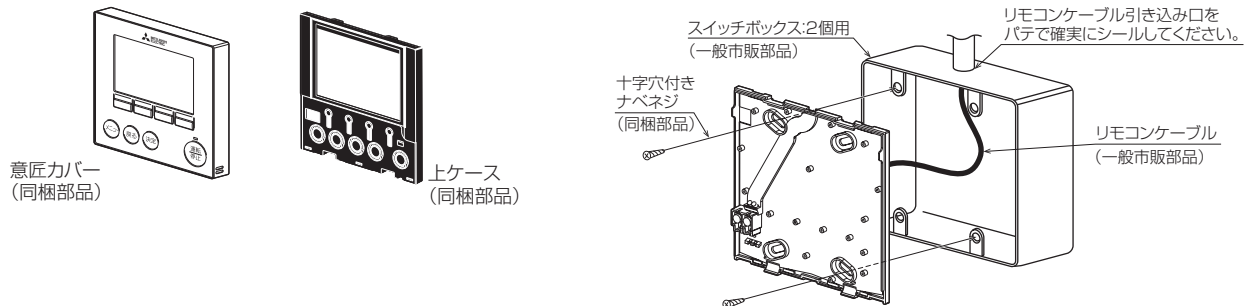
1-3. 一般市販部品

下記の部品は現地にて手配してください。

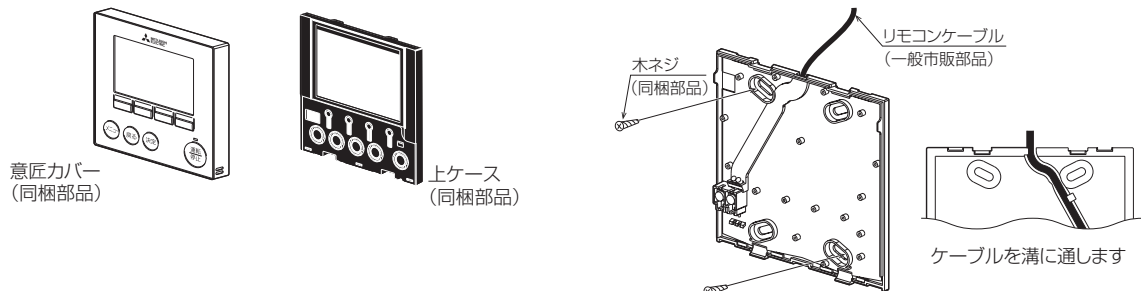
品名	仕様	所要量	備考
スイッチボックス	2 個用 (JIS C8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です
薄鋼電線管	(JIS C8305)	必要量	
ロックナット、ブッシング	(JIS C8330)	必要量	
モール	(JIS C8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です
パテ		適量	
モリーアンカー		必要量	
リモコンケーブル	(0.3mm ² 2 心シース付ケーブル)	必要量	以下の別売ケーブルも使用できます PAC-YT81HC(10m),PAC-YT82HC(20m)

2. 使用箇所（据付工事の概要）

[1] スwitchボックスを使用する場合



[2] 壁面に直接据付ける場合



3. 据付場所の選定

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏えいのおそれがあるところにコントローラを設置しないこと。

- ・可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。

- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。

- ・コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

お願い

コントローラを導電性があるところ（塗装をしていない金属面など）に据え付けないでください。

- ・故障・誤動作のおそれあり。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にコントローラを据え付けないでください。

- ・変形・故障のおそれあり。

コントローラ設置壁面の表面付近の温度と実際の室温との差が大きい場所に据え付けないでください。

- ・検知した室温と実際の室温を誤検知するおそれあり。

コントローラを病院・通信・放送設備がある所に据え付ける場合は、ノイズ対策を行ってください。

- ・ノイズにより医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げるおそれあり。
- ・ノイズにより映像放送の乱れ・雑音が生じるおそれあり。
- ・インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響によるコントローラの故障・誤動作のおそれあり。

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。リモコン（スイッチボックス）を、次の条件を満たす場所に据付けてください。

(1) リモコンが正確な室内温度を検知できる所

室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、主リモコンに設定したリモコンが室温を検知します。この場合、下記事項を守ってください。

- ・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据付けてください。
(直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。)
- ・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据付けてください。
- ・リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据付けてください。
(配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。)

お願い

室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出るおそれがあります。以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。

- ・室内の気流分布が悪く、リモコン設置壁面に吹き出し空気が到達しにくい場合
- ・設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
- ・設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ

- ・急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。

(2) 据付面が平らな所

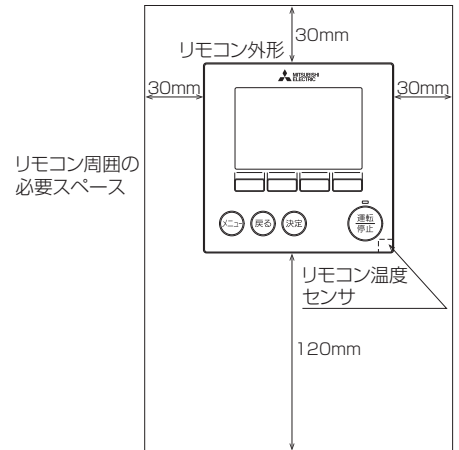
(3) 室内ユニットが確認できる所

フィルタの自動昇降機能付室内ユニットと接続される場合、操作する室内ユニットの昇降動作がリモコンを操作しながら確認できる所（自動昇降の操作方法については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。）

[1] 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンを外しにくくなります。

また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。



3-4. 保守・点検に関する事項

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

4. 据付工事・電気工事

4-1. 建物工事の進行と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

[1] スイッチボックスを使用する場合

壁面仕上げ材を取付ける前にスイッチボックスを取付け、電線管と接合しておき、事前にケーブルを通しておいてください。

その後壁面仕上げ材を取付けておいてください。

[2] 壁面に直接据付ける場合

壁面仕上げ材を取付ける前にリモコンを取付ける予定のところにケーブルを配設しておいてください。

その後壁面仕上げ材を取付けておいてください。

4-2. 届出・報告事項

特にありません。

4-3. 従来工事方法との相違

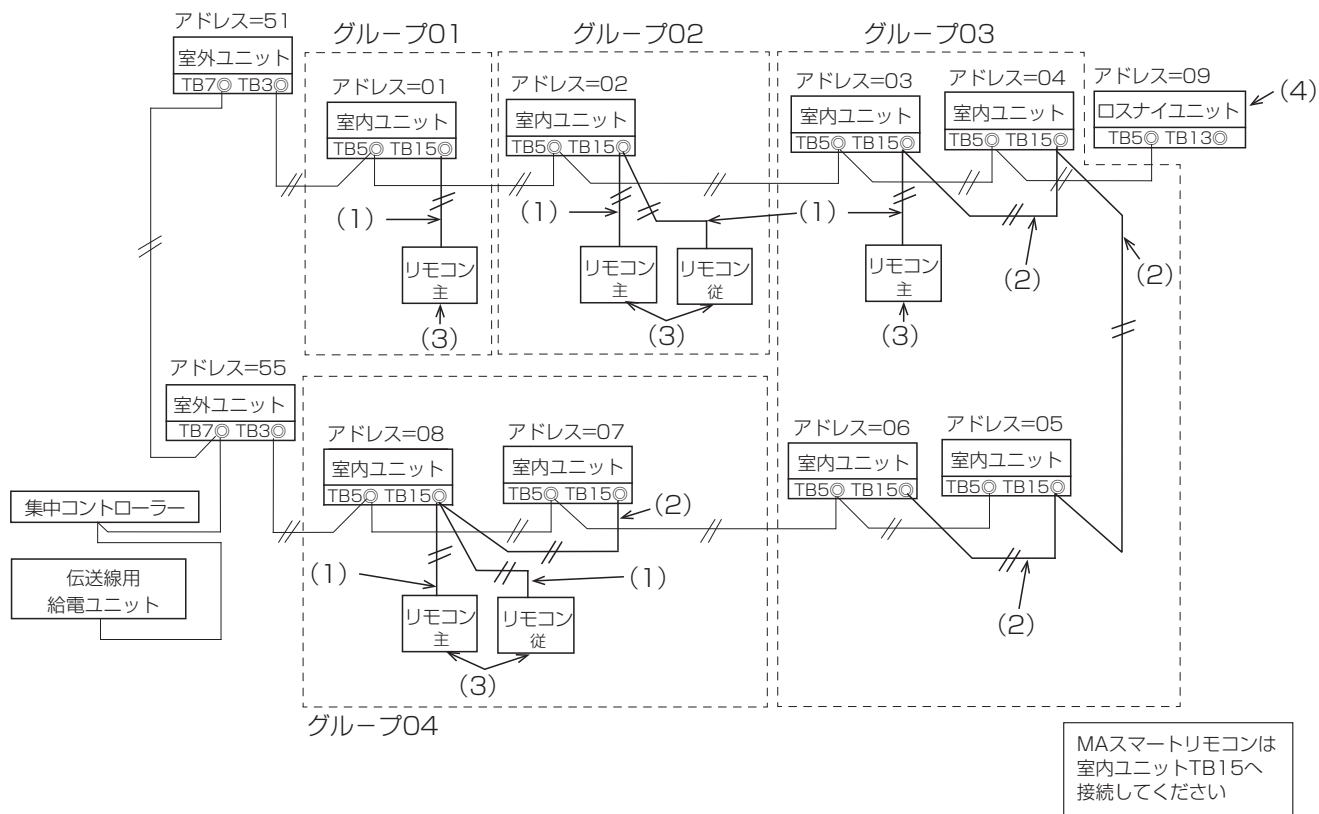
リモコンの配線は、マルチエアコンに接続する場合とスリムエアコンに接続する場合では異なります。

さらにシステム構成によっても異なりますので、確認してください。

空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照してください。

[1] マルチエアコンと接続する場合

図中 (1) ~ (4) は以下の説明文 (1) ~ (4) と対応しています。



(1) リモコン-室内ユニットの配線

- ・ 室内ユニットのMAリモコン線用端子台 (TB15) へ接続してください。
- ・ リモコンの端子台 (記号 1, 2) に接続してください。端子台に極性はありません。

(2) グループ運転する場合

上記グループ 03 および 04

- ・ グループ運転する室内ユニットの MA リモコン線用端子台 (TB15) 同士を渡り配線し、そこにリモコンを接続してください。
- ・ 上図のように MELANS システムコントローラーと併用する場合、システムコントローラー (上図では集中コントローラー) 側でグループ設定が必要です。

(3) リモコンケーブルの総延長、接続可能リモコン台数

接続される室内ユニットにより異なります。カタログ、システム・設計工事マニュアル等で確認してください。なお、リモコン 1 台接続時の総延長は 200 m です。

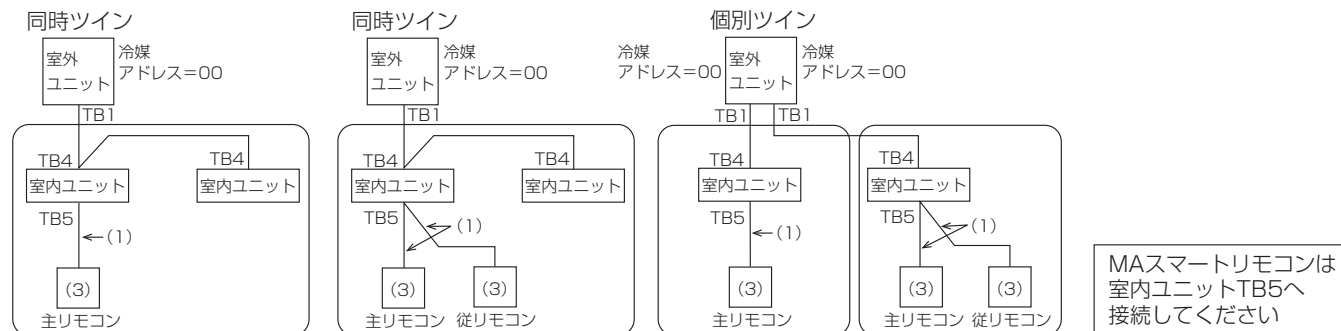
(4) ロスナイを連動させる場合

据付工事説明書 (設定編) を参照し、リモコンで設定してください。

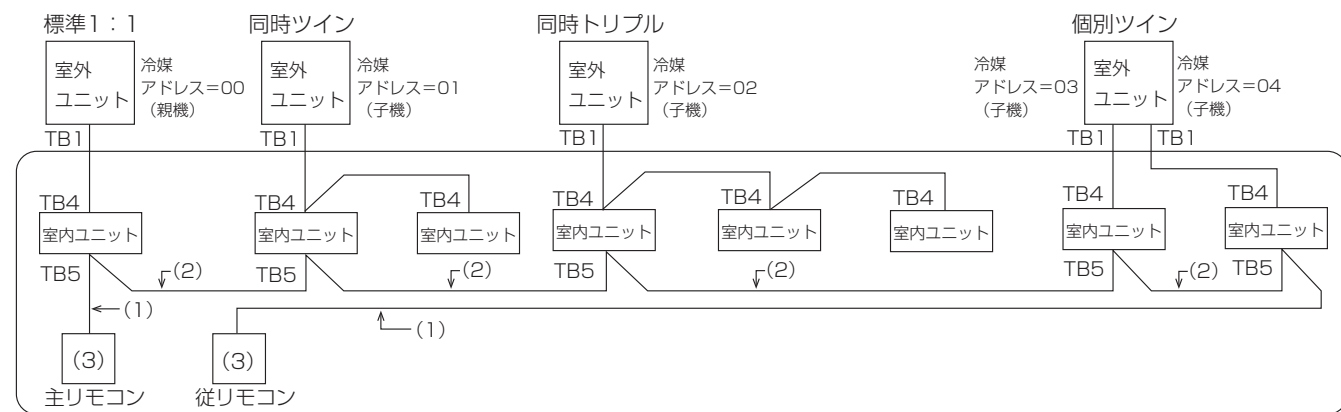
[2] スリムエアコンと接続する場合

リモコンの配線はシステム構成によって異なりますので、以下の例に従って接続してください。
 図中の (1) ~ (3) は以下の説明文 (1) ~ (3) と対応しています。

冷媒系統ごとにリモコンを接続する場合



異冷媒系統でグルーピングする場合



お知らせ

- 冷媒アドレスの設定は室外ユニットのディップスイッチにて行ないます。(詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください)
- で囲まれた全室内ユニットを 1 グループとして制御します。

(1) リモコン-室内ユニットの配線

- 室内ユニットのリモコン用端子台 (TB5) へ接続してください。(極性はありません)
- 同時マルチタイプにおいて、異なる機種種の室内ユニットが混在する場合、機能 (風速、ベーン、ルーバーなど) の多い室内ユニットにリモコンを接続してください。

(2) 異冷媒系統でグルーピングする場合の配線

- リモコンケーブルによりグルーピングを行ないます。グルーピングする各冷媒系統の室内ユニット代表 1 台のリモコン用端子台 (TB5) 間を渡り配線してください。
- 同一グループ内に異なる機種種の室内ユニットが混在する場合、機能 (風速、ベーン、ルーバーなど) の多い室内ユニットが接続されている室外ユニットを親機 (冷媒アドレス = 00) としてください。また親機が同時マルチタイプとなった場合には上記 (1) の条件を満たしてください。
- MAスマートリモコンでは最大 16 冷媒系統を 1 グループとして制御可能です。

(3) 1 グループに 2 台までリモコンを接続する場合

- 1 グループにリモコンを 2 台接続した場合、主リモコンと従リモコンの設定を行なってください。
- 設定方法としては 1 グループに 1 台しか接続されていない場合は常に主リモコンに設定してください。1 グループに 2 台のリモコンが接続される場合はそれぞれ主リモコンと従リモコンに設定してください。(据付工事説明書 (設定編) 参照)

(4) リモコンケーブルの総延長

総延長は 500m です。リモコンケーブルは 0.3m² の 2 心ケーブルを使用してください。(現地手配)
 リモコンを 2 台接続した場合は総延長 200m となります。

お願い

同一冷媒系統の室内ユニットのリモコン用端子台 (TB5) 間の渡り配線はしないでください。

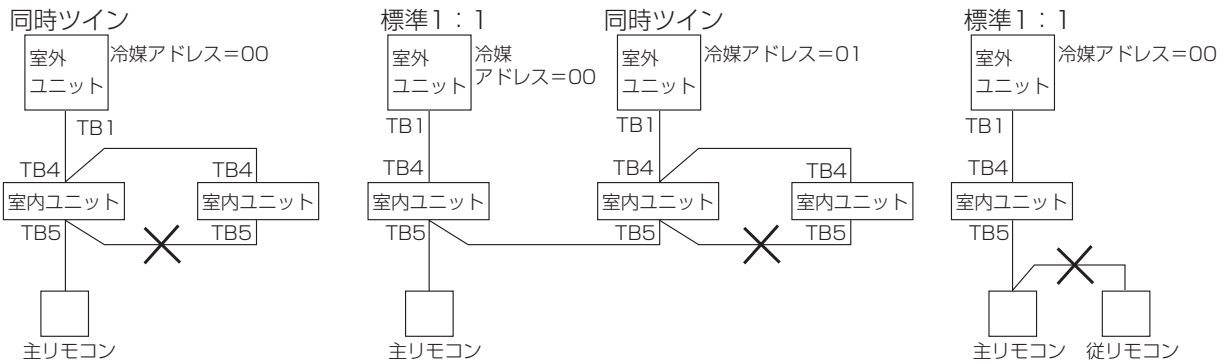
◆ 渡り配線した場合、システムが正常に作動しないおそれあり。

室内ユニットのリモコン用端子台 (TB5) へ接続する場合、1つの端子台に同じサイズの配線を2本までとしてください。

◆ 不備がある場合、接触不良や配線外れのおそれあり。

リモコン同士の渡り配線はしないでください。

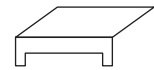
◆ リモコンの端子台には、配線は1本しか接続できません。



4-4. 据付と電気工事をする

4-4-1. 必要工具

- ・ マイナスドライバー (刃幅 4 ~ 7mm) または取外し治具 (部品コード: R61 008 235)
- ・ ニッパー
- ・ その他一般工具



取外し治具

4-4-2. 据付工事

[1] リモコンの据付け方

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事を行ってください。

(1) 壁面に据付用の穴を開ける

■ スwitchボックスを使用する場合

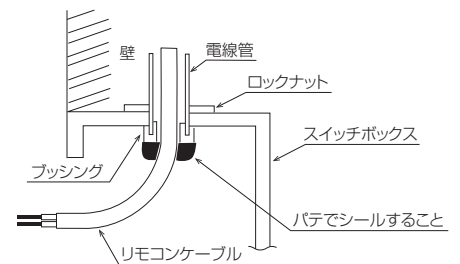
手順

1. 壁面に穴を開け、スイッチボックスを据付ける。
2. スwitchボックスと電線管を接合する。

■ 壁面に直接据付ける場合

手順

1. 壁に穴を開ける。
2. リモコンケーブルを通す。



(2) リモコンケーブル引込口をシールする

■ スwitchボックスを使用する場合

手順

1. スwitchボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールする。

配線引込口をパテでシールすること。

- ◆ 露・水が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。

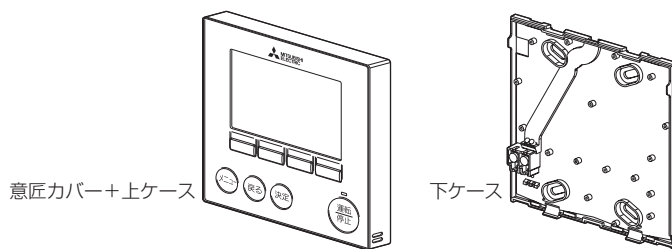


指示を実行

(3) リモコンを準備する

手順

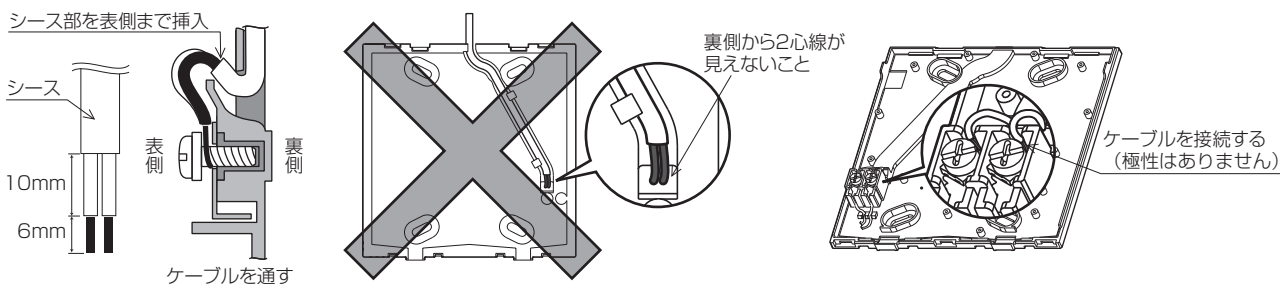
1. リモコン本体の下ケースを取出します。



(4) リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する

手順

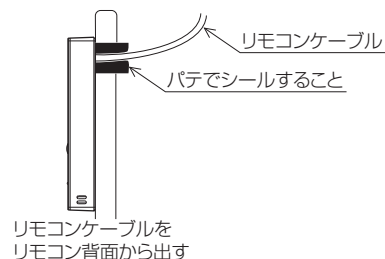
1. リモコンケーブルを下記図のように加工し、下ケース背面から通す。
2. リモコンケーブルのシースをむきとった部分が背面から見えなくなるように、下ケース表側まで挿入する。
3. 被覆が噛まないようリモコンケーブルを端子台に接続する。



■壁面に直接据付ける場合

手順

1. 下ケースのリモコンケーブルを通した穴をパテでシールする。



端子台に配線の切くずが入らないようにすること。

- ◆ ショート・感電・故障のおそれあり。



お願い

コントローラの配線を端子台に接続する際に、圧着端子を使用しないでください。

- ◆ 基板と接触し故障のおそれあり。
- ◆ カバーと接触しカバー損傷のおそれあり。

(5) 下ケースを据付ける

■ スイッチボックスを使用する場合

手順

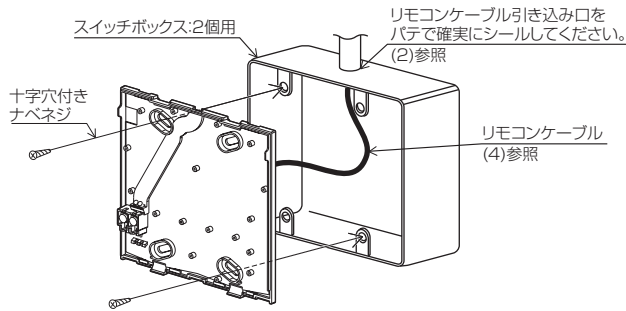
1. 下ケースは 2 カ所以上固定する。

■ 壁面に直接据付ける場合

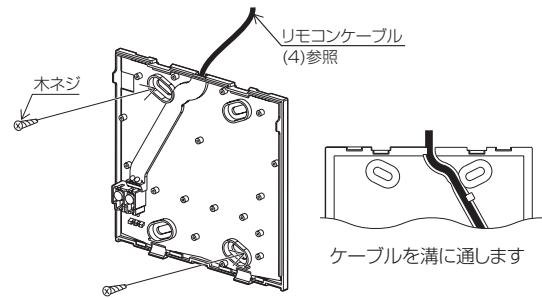
手順

1. ケーブルを溝に通す。
2. 下ケースは 2 カ所以上固定する。
3. リモコン正面から見て左上と右下の 2 カ所を固定する。(モリーアンカーなどを使用して固定してください。) 配線により壁面からリモコンが浮くことを防止できます。

スイッチボックスを使用する場合



壁面に直接据付ける場合



お願い

ネジを締めすぎないでください。

◆ 損傷するおそれあり。

コントローラのケースに追加穴を開けないでください。

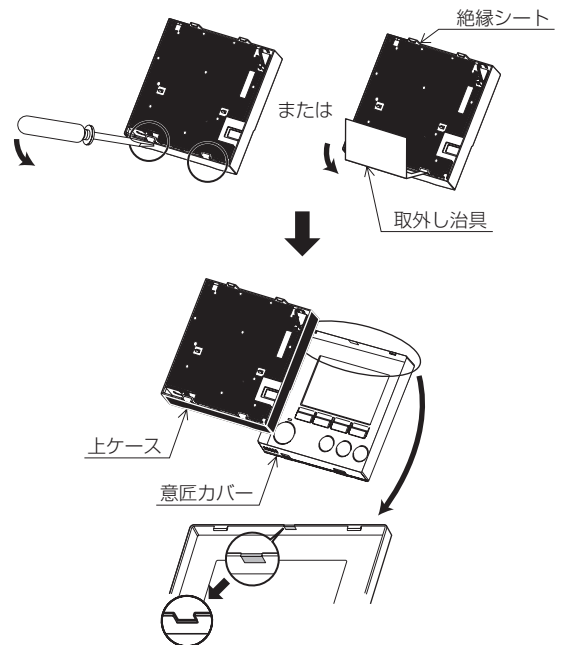
◆ 損傷するおそれあり。

(6) 配線穴を加工する

■ 壁面に直接据付ける場合 (リモコンケーブルを壁面に這わす場合)

手順

1. 刃幅 4 ~ 7mm マイナスドライバーをリモコン下部2カ所のツメ部分のいずれかに差し込み、または取外し治具をリモコン下部2カ所のツメ部分両方に差し込み、矢印で示す方向に動かす。意匠カバーから上ケースが少し浮いた状態となりますので上ケースを手前上に引いて取外してください。
2. 意匠カバーの内側薄肉部 (右図の塗潰し部) をニッパーで切り取る。(下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。)
3. 上ケースを意匠カバーにはめ込む。



お願い

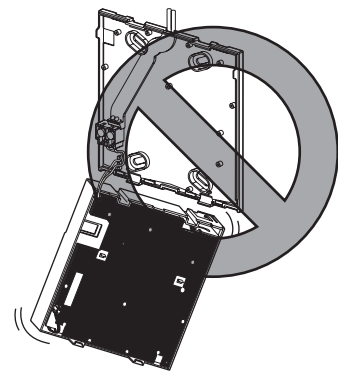
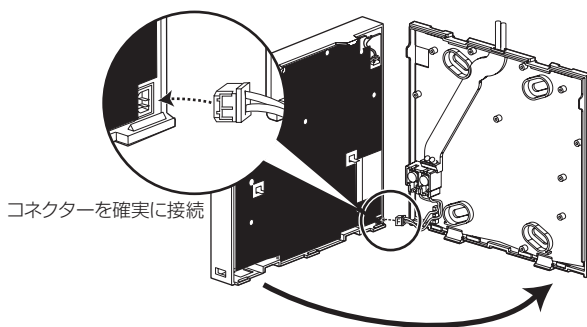
意匠カバーを上ケースから取外して加工してください。

◆ 取外さないで加工した場合、基板が破損するおそれあり。

(7) 上ケースに配線する

手順

1. 下ケースのコンネクターを上ケースのコンネクターに接続する。



お願い

コントローラのケースから基板保護シート・基板は取り外さないでください。

◆ 故障のおそれあり。

コントローラのコンネクター接続後、ケースをぶら下げないでください。

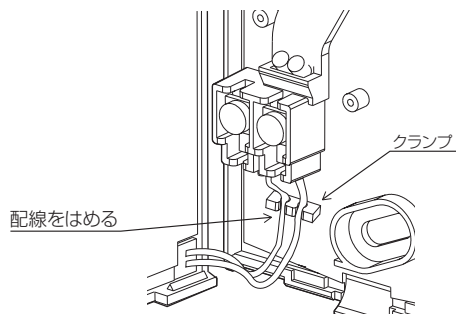
◆ 断線し、動作に支障をきたすおそれあり。

(8) 配線をクランプにはめる。

お願い

コントローラの配線はクランプにはめて固定してください。

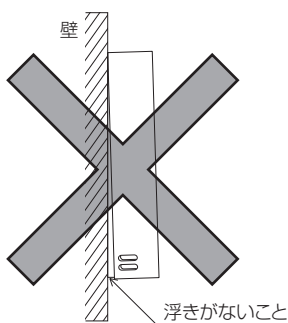
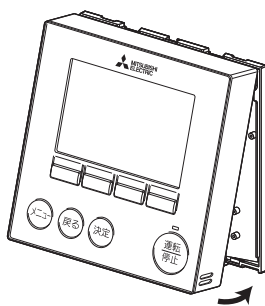
- ◆ 固定していない場合、端子台に直接力が加わり断線のおそれあり。
- ◆ 上ケースがはめ込めないおそれあり。



(9) リモコン意匠カバー・上ケースをはめ込む

手順

1. ツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込む。上ケース（工場出荷時、意匠カバーと上ケースは、はめ込まれた状態）の上部にツメが2カ所あります。
2. ケースに浮きがないことを確認する。



"パチッ"と音がするまではめ込むこと。

- ◆ はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

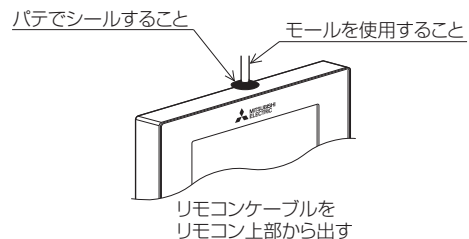


指示を実行

■ 壁面に直接据付ける場合（リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

手順

1. リモコンケーブルをリモコンの上部から出す。
2. 意匠カバーの切り取った部分をパテでシールする。
3. モール（配線カバー）を使用する。



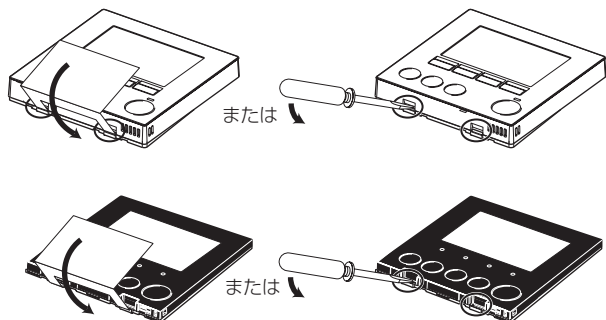
以上で据付工事は完了ですが、再度取外す場合は以下の方法で行ってください。

[2] リモコン意匠カバー・上ケースの外し方

(1) 意匠カバーを外す

手順

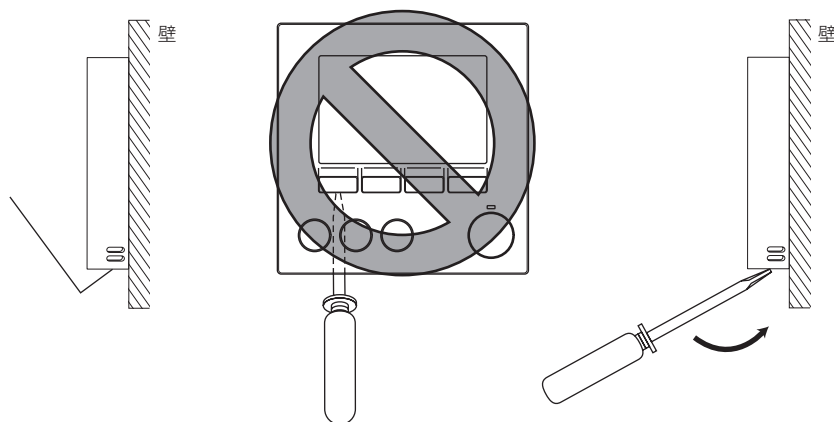
1. 刃幅 4～7mm マイナスドライバーをリモコン下部2カ所のツメ部分のいずれかに差し込み、または取外し治具をリモコン下部2カ所のツメ部分両方に差し込み、矢印で示す方向に動かす。
引っかかっているツメが外れます。
2. 意匠カバーを手前上に引いて取外す。



(2) 上ケースを外す

手順

1. 刃幅 5mm のマイナスドライバーをリモコン下部 2 カ所のツメ部分のいずれかに差し込み、意匠カバーと同様にして外す。
深く差し込むと意匠カバーと上ケースが一緒に取外されます。



お願い

マイナスドライバーをコントローラのツメに強く差し込まないでください。

◆ 基板が損傷するおそれあり。

マイナスドライバーをコントローラのツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。

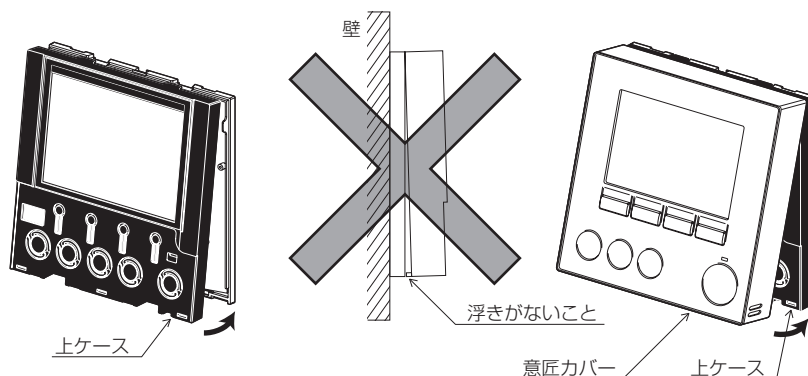
◆ ケースが損傷するおそれあり。

(3) 意匠カバー・上ケースを取付ける

上ケースの上部にツメが 2 カ所あります。

手順

1. ツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込む。
2. 同様に意匠カバーを上ケースにはめ込む。
ケースに浮きがないことを確認してください。



“パチッ”と音がするまではめ込むこと。

◆ はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。



指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

4-5. サービス

再度取外す場合は手順を参考にして行ってください。

5. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、「5-1. 据付工事のチェックリスト」に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません）

5-1. 据付工事のチェックリスト

確認項目		確認結果
設置環境	設置周りは必要な空間が守られていますか	
リモコン	リモコンケーブルの切屑などが端子台に入っていないか	
	リモコンケーブル引き込み口はパテ等でシールしましたか	
	意匠カバーと上ケースに浮きがなくはめ込んでいますか	

5-2. リモコンの設定

リモコンの主／従設定は、「リモコンの据付工事説明書（設定編）主従設定の項」を参照してください。

5-3. 温度センサの設定

温度センサの設定は、「マルチエアコンシステムでは室内ユニットの据付工事説明書」「スリムエアコンではリモコンの据付工事説明書（設定編）機能選択の項」を参照してください。

5-4. 保護シートの取外し

工場出荷時、意匠カバーの操作面に保護シートを貼っています。
ご使用前に、保護シートをはがしてください。

6. 試運転

6-1. 試運転の方法

- お客様立ち会いで、同梱の据付工事説明書（設定編）に従って、試運転を行ってください。
- 試運転の詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

6-2. 試運転中の確認事項

- リモコンに接続している室内ユニットが運転することを確認してください。
- グループ運転する場合は、リモコンと同じグループに属する機器が運転することを確認してください。

7. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。
お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- 「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後、同梱の取扱説明書・据付工事説明書（設定編）と共にお使いになる方にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

8. 安全に長くお使いいただくために

本製品を含む空調システムは長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上、支障が生じたり、本来の性能が発揮できないおそれがあります。空調システムを良好な状態で長く安心してご利用いただくために、販売会社または認定技術者と保守契約することで、技術者がお客様に代わって定期的に点検いたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処置を行います。

8-1. 日常の保守

8-1-1. カバーの清掃

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は避けてください。

8-2. 点検時の交換部品と保有期間

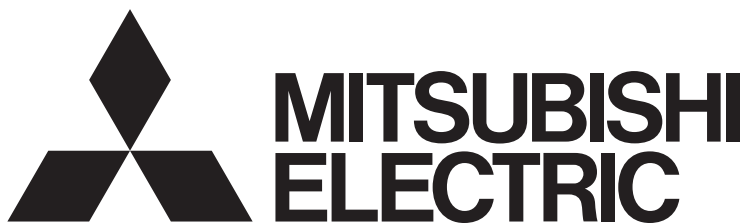
<参考> 主要部品の交換周期

主要部品名	交換目安周期
リモコン	10年

※ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※ 交換周期は保証期間とは異なります。

※ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化）のためにお役立てください。



三菱電機 **ビル** 空調管理システム **共通**
三菱電機スリムエアコン用

MA スマートリモコン

形名

PAR-36MA

WT07316X01

据付工事説明書（設定編）

販売店・工事店様用

もくじ	
1. 各部のなまえ	2
1-1. リモコンの各ボタンの説明	2
1-2. ファンクションボタンの操作について	3
2. ご使用前の準備	3
3. 使用方法	4
3-1. 電源投入	4
3-2. 試運転	4
3-3. 初期設定	5
3-4. サービスメニュー	9
4. 修理を依頼する前に	16
4-1. リモコン診断	16

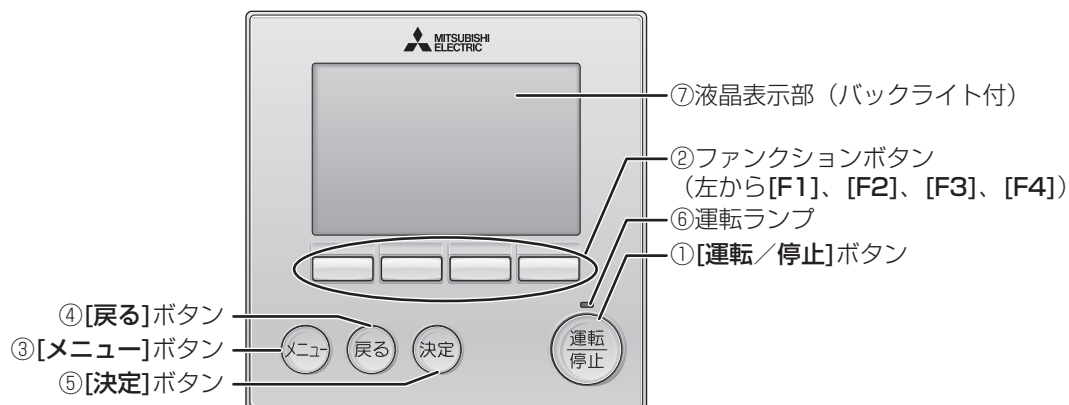
この据付工事説明書は据付工事時に設定する項目（初期設定・サービス）について記載しています。よくお読みのうえ、設定してください。なお、リモコンの据付工事方法に関しては据付工事説明書（据付編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付工事説明書を参照してください。お読みになったあとは、お使いになる方に本書をお渡しください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

1. 各部のなまえ

1-1. リモコンの各ボタンの説明



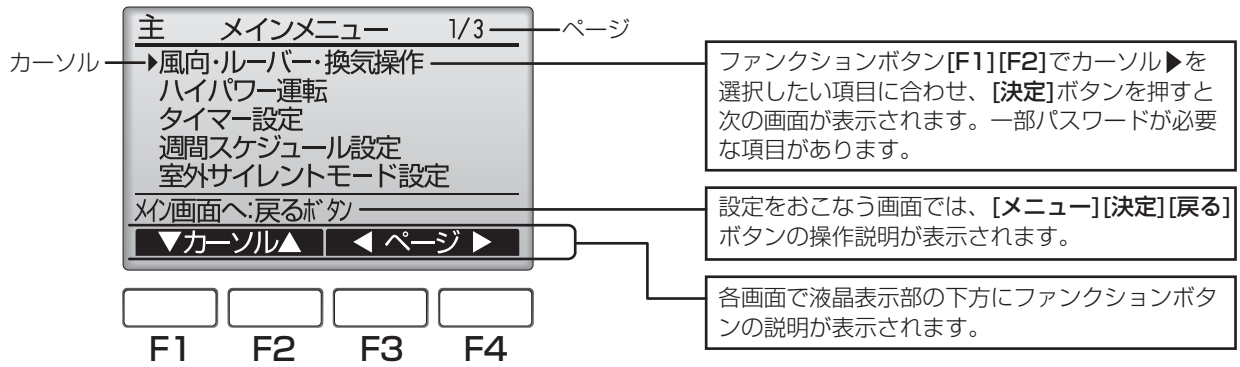
項目	内容
① [運転/停止] ボタン	室内ユニットの運転 / 停止をおこないます。
② ファンクションボタン	メイン画面で運転モード、設定温度、風速を設定します。 各画面でメニュー項目や設定の選択に使用します。
③ [メニュー] ボタン	メインメニュー画面を表示します。
④ [戻る] ボタン	各画面で前の画面に戻るときに使用します。
⑤ [決定] ボタン	各画面で設定画面に移行するときや、設定を確定するときを使用します。
⑥ 運転ランプ	運転中に緑色に点灯します。立上げ時、異常発生時は点滅します。
⑦ 液晶表示部	ドット表示します。 いずれかのボタンを押すとバックライトが点灯し、一定時間後に消灯します。点灯時間は画面により異なります。 点灯中にボタン操作すると点灯時間が延長されます。

お知らせ

- バックライトが消えている時は最初のボタン操作で、バックライトを点灯します。
操作内容は受け付けません。([運転/停止] ボタンは除く)

1-2. ファンクションボタンの操作について

〈メインメニュー画面の操作例〉



メイン画面（「3-1. 電源投入（4 ページ）」参照）にて **[メニュー]** ボタンを押すと下記メインメニューが表示されます。

1 / 3	風向・ルーバー・換気操作* ¹
	ハイパワー運転* ¹
	タイマー設定* ¹
	週間スケジュール設定* ¹
	室外サイレントモード設定* ¹
2 / 3	制限設定* ¹
	省エネ設定* ¹
	自動清掃設定* ¹
	フィルター情報* ¹
	異常情報* ¹
3 / 3	CO ₂ 排出量表示（スリムのみ）* ¹
	メンテナンス* ¹
	初期設定* ² * ³
	サービス* ² * ³
	Q&A* ¹

※¹ 詳細は取扱説明書を参照してください。

※² 本説明書に記載している内容です。

※³ 初期設定各画面で 10 分間、サービス各画面で 2 時間操作が無い場合（一部の画面では 10 分間）は自動的にメイン画面に戻ります。このとき設定途中のデータは破棄されます。

接続する室内ユニットによって使用できるメニューが異なります。

本リモコンに同梱している説明書に記載されていない事項は空調機本体の説明書を参照してください。

2. ご使用前の準備

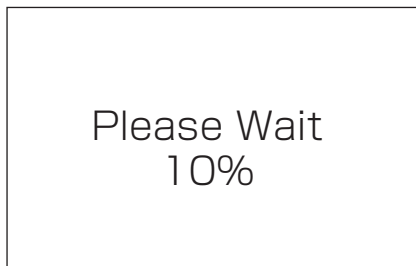
据付工事説明書（据付編）に従って本機の据付工事が完了しているか、また、室内ユニット、室外ユニットの据付工事が完了しているか確認してください。

3. 使用方法

3-1. 電源投入

手順

1. ユニットの電源を投入する。
電源投入後、次の表示が出ます。
正常に立ち上がるとメイン画面が表示されます。

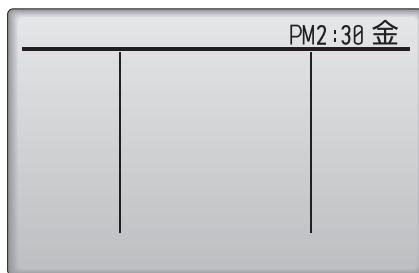


正常時（立上げ進捗を%表示します）

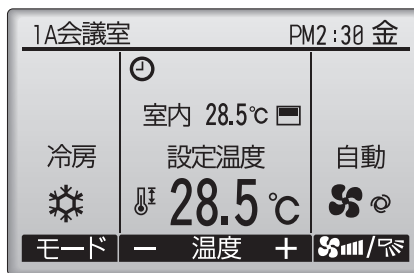
お知らせ

- ・ マルチエアコンについては形名末尾が G1 以降の室内機にのみ MA スマートリモコンのペア接続ができます。

メイン画面は「詳細画面」と「簡易画面」の2種類を選択できます。
画面の切換えについては「3-3. 初期設定（5 ページ）」を参照してください。（工場出荷時は「詳細画面」です。）



メイン画面例（停止時詳細画面）



メイン画面例（運転時詳細画面）

お願い

- ・ ペアリモコン使用時は、1 台を必ず従リモコンに設定してください。
設定方法は「3-3. 初期設定（5 ページ）」を参照してください。
- ・ アイコン表示の意味については「取扱説明書」を参照してください。

3-2. 試運転

〈サービス用パスワードが必要です〉

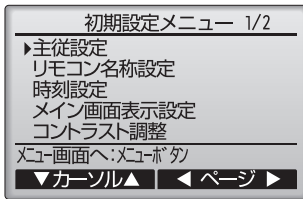
- 1) 試運転をおこなう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。
- 2) メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」→「試運転」→「試運転操作」より、試運転をおこないます。
- 3) [運転/停止] ボタン操作により試運転は停止します。
- 4) 試運転の詳細、および試運転によって異常が発生した場合の対応については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

お知らせ

- ・ サービス用パスワードについては「3-4. サービスメニュー（9 ページ）」を参照してください。

3-3. 初期設定

メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定をおこないます。



- 初期設定メニュー (1/2)
- ・主従設定
 - ・リモコン名称設定
 - ・時刻設定
 - ・メイン画面表示設定
 - ・コントラスト調整

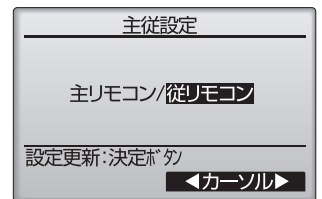
- 初期設定メニュー (2/2)
- ・リモコン表示設定
 - －時刻表示
 - －温度単位表示
 - －吸込温度表示
 - －自動冷暖表示
 - ・自動モード設定
 - ・CO₂表示設定 (スリムのみ)
(リモコンの取扱説明書を参照ください)
 - ・管理者用パスワード登録

[1] 主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

手順

1. [F3][F4] ボタンを操作する。
現在選択している項目が反転表示されます。
2. 従リモコンを選択する。
3. [決定] ボタンにより設定更新する。
4. 設定後、[メニュー] ボタンでメインメニュー画面に戻る。
(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

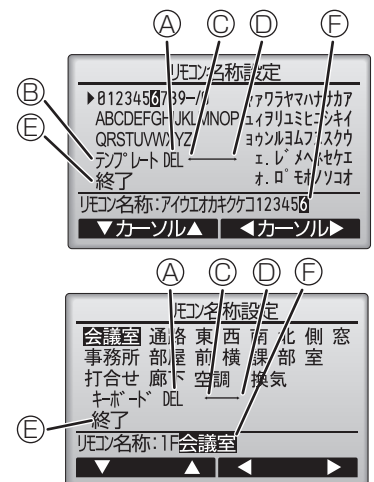


[2] リモコン名称設定

メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。
リモコン名称は半角 16 文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は 1 文字あたり半角 2 文字分となります。)

手順

1. [F1] ~ [F4] ボタンにて文字を選択し、[決定] ボタンで 1 文字ずつ決定する。
2. 決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し [決定] ボタンを押す。
3. 「テンプレート」Ⓔを選択して [決定] ボタンを押す。
テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)
4. 「←」Ⓒ 「→」Ⓓを選択する。
リモコン名称の文字入力カーソルⒺの文字が対象となり文字消去、変更ができます。
5. 入力が完了したら、「終了」Ⓕを選択する。
6. [決定] ボタンを押してリモコン名称を決定する。



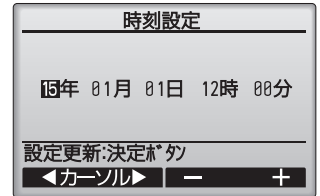
[3] 時刻設定

手順

1. [F1][F2] ボタンで変更する項目に移動する。
2. [F3][F4] ボタンにて、年（西暦下二桁）月日時分を変更し、[決定] ボタンで設定更新する。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

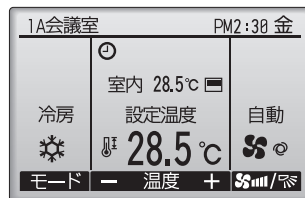
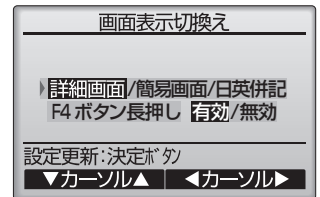
お知らせ

- ・「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

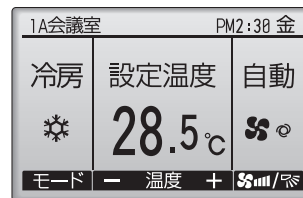


[4] メイン画面表示設定

1. [F3][F4] ボタンにてメイン画面表示を設定する。
(工場出荷時は詳細画面です。)



詳細画面 (例)



簡易画面 (例)

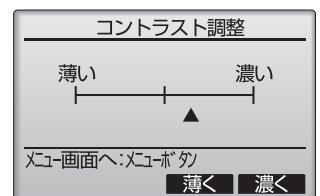
お知らせ

- ・本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
- ・簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの（制御）状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

[5] コントラスト調整

手順

1. [F3][F4] ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整する。
現在の設定が▲で示されます。



お知らせ

- ・据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。
コントラスト調整により全方向から見えやすくすることはできません。

[6] リモコン表示設定

リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。
各項目を設定後、[決定] ボタンにて設定更新します。

リモコン表示設定	
▶時刻表示	しない AM12:00
温度単位表示	<input checked="" type="checkbox"/> °C/ <input type="checkbox"/> °F/1°C
吸入温度表示	<input checked="" type="checkbox"/> する/ <input type="checkbox"/> しない
自動冷暖表示	<input checked="" type="checkbox"/> する/ <input type="checkbox"/> しない
設定更新:決定*ク	
▼カーソル▲	
変更	

リモコン表示設定画面

(1) 時刻表示

手順

1. リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて [F4] (変更) ボタンを押す。
時刻表示設定画面が表示されます。
2. [F1] ~ [F4] ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択する。
3. [決定] ボタンにより設定を更新する。
(工場出荷時は“表示する / AM12:00 表示” です。)

時刻表示設定	
▶時刻表示	<input checked="" type="checkbox"/> する/ <input type="checkbox"/> しない
12時間表示	<input checked="" type="checkbox"/> 12h/ <input type="checkbox"/> 24h
AM/PM表示	<input checked="" type="checkbox"/> AM12:00/ <input type="checkbox"/> 12:00AM
設定更新:決定*ク	
▼カーソル▲	
◀カーソル▶	

時刻表示 : ・ する (メイン画面に時刻表示します)
 : ・ しない (メイン画面に時刻表示しません)

12 時間表示 : ・ 24h (24 時間表示) ・ 12h (12 時間表示)

AM/PM 表示 (12 時間表示の時のみ有効となります) : ・ AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)
 : ・ 12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

お知らせ

- ・ 12 時間表示形式、12 時間 / 24 時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12 時間表示、24 時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。
12 時間表示 : AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM 1:00 ~ PM11:59
24 時間表示 : 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

(2) 温度単位表示

手順

1. リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定する。
(工場出荷時は摂氏 (°C) です。)
- °C : 温度表示単位を摂氏表示にします。
 室内ユニットの種類により表示単位を 0.5°Cまたは 1°C単位で表示します。
- °F : 温度表示単位を華氏表示にします。
- 1°C : 温度表示単位を摂氏表示 (1°C単位) にします。
 従リモコンの場合には本項目は表示されません。

リモコン表示設定	
時刻表示	しない AM12:00
▶温度単位表示	<input checked="" type="checkbox"/> °C/ <input type="checkbox"/> °F/1°C
吸入温度表示	<input checked="" type="checkbox"/> する/ <input type="checkbox"/> しない
自動冷暖表示	<input checked="" type="checkbox"/> する/ <input type="checkbox"/> しない
設定画面へ:決定*ク	
▼カーソル▲	
◀カーソル▶	

(3) 吸入温度の温度表示

手順

1. リモコン表示設定画面の、「吸入温度表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定する。
(工場出荷時は「する」です。)
- す る : メイン画面に室内温度を表示します。
しな い : メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ

- ・ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

(4) 自動冷暖表示

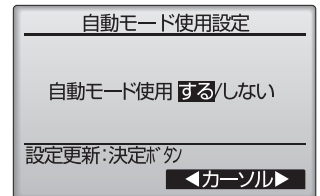
手順

1. リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定する。
(工場出荷時は「する」です。)
する：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

[7] 自動モード設定

手順

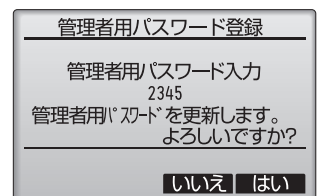
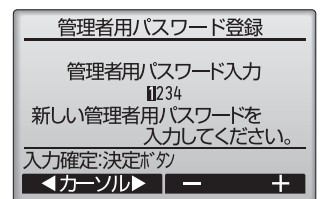
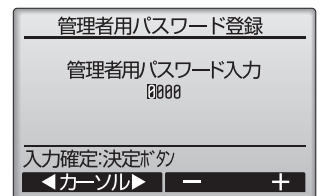
1. 自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を [F3][F4] ボタンにて設定する。
(工場出荷時は使用「する」です。)
2. [決定] ボタンにより設定を更新する。
する：運転モード選択時に自動モードを表示します。
しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。



[8] 管理者パスワード登録

手順

1. 最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字 4 桁）を入力する。
[F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて 0～9 の数字を設定します。
2. 4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押す。
パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。
3. 同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、[決定] ボタンを押す。
パスワード更新確認画面が表示されます。
4. [F4] (はい) ボタンにて更新する。
取り消す場合は [F3] (いいえ) ボタンを押します。



お願い

- 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
- パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

- 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて [F1][F2] ボタンを同時に 3 秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。
- 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
 - ・タイマー設定 ・週間スケジュール設定 ・室外サイレントモード設定
 - ・制限設定 ・省エネ設定 ・メニュー操作ロック設定各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

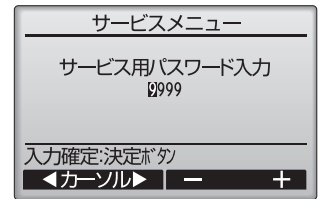
3-4. サービスメニュー

〈サービス用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作を行います。

手順

1. サービスメニューを選択する。
パスワード入力画面が表示されます。
2. 現在設定されているサービス用のパスワード（数字 4 桁）を入力する。
3. [F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて 0～9 の数字を設定する。
4. 4 桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押す。
パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



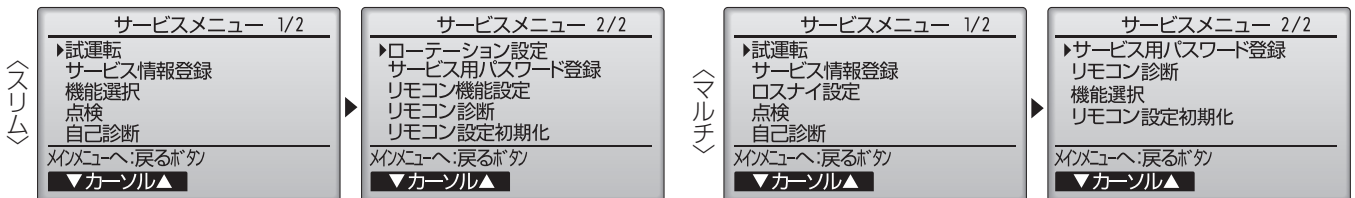
お願い

- ・ サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
- ・ パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

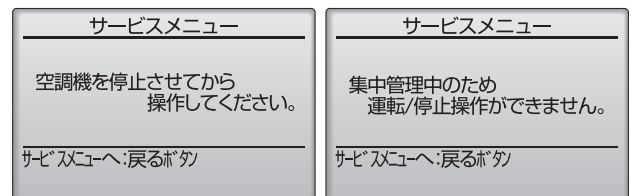
- ・ サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて [F1][F2] ボタンを同時に 3 秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

接続されている室内ユニットの種類（マルチエアコンまたはスリムエアコン）により、表示されるメニューが異なります。



お知らせ

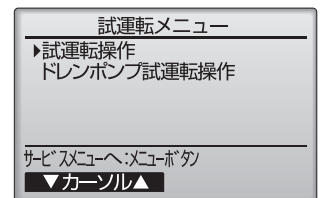
- ・ サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。



[1] 試運転（マルチ / スリム共通）

手順

1. サービスメニューにて「試運転」を選択する。
試運転メニュー画面が表示されます。
 - ・ 試運転操作：試運転をおこないます。
 - ・ ドレンポンプ試運転操作：
室内ユニットに搭載しているドレンポンプの試運転を行います。
試運転に対応している室内ユニットに対してのみ有効です。



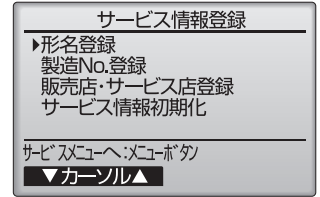
お知らせ

- ・ 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

[2] サービス情報登録（マルチ / スリム共通）

手順

1. サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択する。
サービス情報登録画面が表示されます。
操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。



お知らせ

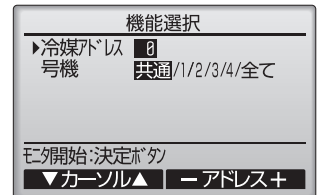
サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

- 形名登録
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角 18 文字、製造番号は半角 8 文字まで入力できます。
- 販売店・サービス店登録
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角 10 文字、電話番号は半角 13 文字まで入力できます。
- サービス情報初期化
形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

[3] 機能選択

(1) スリム

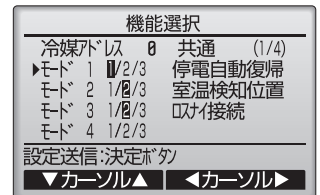
リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。
サービスメニューにて「機能選択」を選択すると、機能選択画面が表示されます。



手順

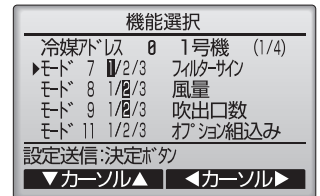
1. 最初に [F1] ~ [F4] ボタンにて接続されている室内ユニットの冷媒アドレス・号機を設定する。
2. [決定] ボタンにて現在の設定を表示確認する。
対象号機は「表. 機能選択内容 (11 ページ)」の通り機能選択モードに準じて選択してください。

室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。反転表示が無いモードは機能が無いことを表しています。
号機で指定した共通・号機によりモニタ結果画面が異なります。



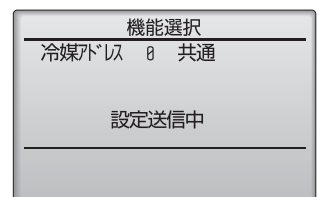
共通項目

3. [F1][F2] ボタンにてモード番号を選択する。
4. [F3][F4] ボタンにて設定番号を変更する。



個別(1号機~4号機)項目

5. 変更する全てのモード番号の設定が完了したら、[決定] ボタンを押す。
リモコンから室内ユニットへ設定内容を送信します。



正常に通信が完了すると、最初の機能選択画面に戻ります。

お願い

- ・スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。
- ・「表.機能選択内容」は代表的なモード番号の内容です。室内ユニットの出荷設定内容・モード番号・設定番号についての詳細は室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- ・工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を別紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

表.機能選択内容

モード No.	モード	設定内容	設定番号	対象号機	
01	停電自動復帰	無し	1	号機「共通」1を選択します。 全室内ユニットに対して設定を行う項目です。	
		有り (電源回復後、約4分間の待機が必要です)	2		
02	室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	1		
		リモコン接続室内ユニット固定	2		
		リモコン内蔵センサー	3		
03	ロスナイ接続	接続無し	1		
		接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)	2		
		接続有り(室内ユニット外気取入れ有り)	3		
16	加湿器制御切換	定時	1		
		常時	2		
17	霜取制御切換	標準	1		
		北陸仕様	2		
07	フィルターサイン	100時間	1	号機「1～4、全て」を選択して設定します。	
		2500時間	2		
		表示無し	3		
08	風量	静音(または標準)	1		各室内ユニットに対して設定を行う項目です。 ・「1～4」号機を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニットごとに設定します。 ・「全て」を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニット全て同一に設定します。
		標準(または高天井①)	2		
		高天井(または高天井②)	3		
09	吹出し口	4方向	1		
		3方向	2		
		2方向	3		
10	オプション組込 (高性能フィルター)	無し	1		
		有り	2		

(2) マルチ

室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

(3) 外気処理ユニット

外気処理ユニットの据付工事説明書を参照してください。

[4] ロスナイ設定（マルチのみ）

マルチエアコンでロスナイとの連動運転をおこなう場合のみ設定します。スリムエアコンでは設定できません。
リモコンが接続されている室内ユニットに対し設定（ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消）を行うことができます。

お願い

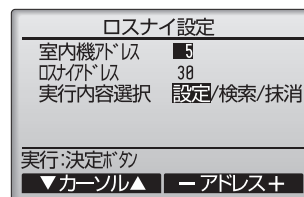
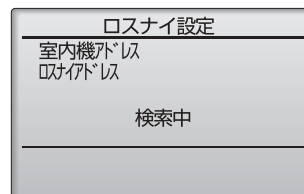
- ・集中コントローラが接続される場合は、集中コントローラより設定してください。
- ・ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

手順

1. サービスメニューにて「ロスナイ設定」を選択する。

自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されているロスナイのアドレス検索をおこないます。

検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスを表示します。ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

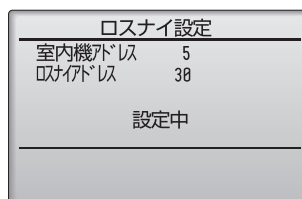


2. 設定する必要がなければ、**[戻る]** ボタンを押す。
「サービスメニュー」に戻ります。

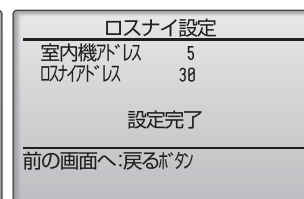
(1) ロスナイを登録する場合

手順

1. 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを **[F1]** ~ **[F4]** ボタンにて設定する。
2. 「実行内容選択」で「設定」を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押す。
「設定中」が表示され、正常に設定完了すると、「設定完了」が表示されます。



設定中

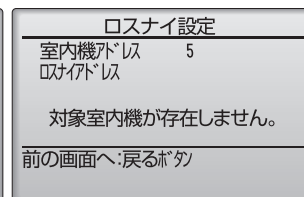
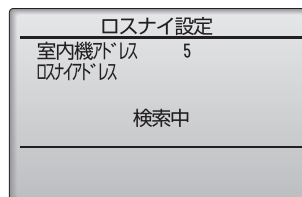


正常終了

(2) ロスナイアドレスを検索する場合

手順

1. ロスナイアドレスを検索したい場合は、リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定する。
2. 「実行内容選択」で「検索」を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押す。
「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスを表示します。ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。



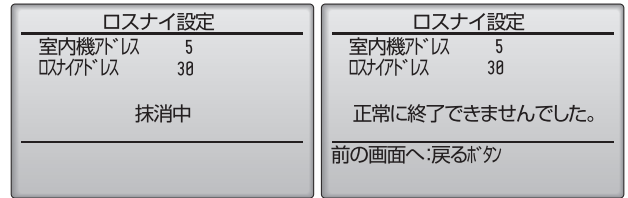
(3) ロスナイの登録を解除する場合

リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。

手順

1. 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを [F1] ~ [F4] ボタンにて設定する。
2. 「実行内容選択」で「抹消」を選択する。
3. [決定] ボタンを押す。

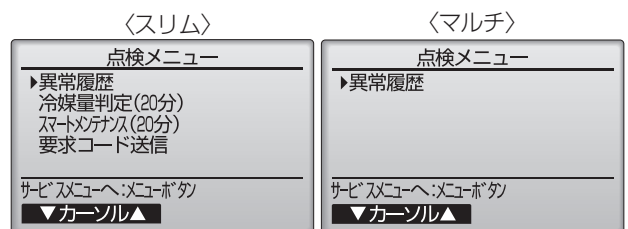
「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。
解除が正常におこなわれなかった場合は、「正常に終了できませんでした」を表示します。



[5] 点検

手順

1. サービスメニューにて「点検」を選択する。
点検メニュー画面が表示されます。
接続されている室内ユニットがマルチエアコンかスリムエアコンかにより、表示されるメニューが異なります。



(1) 異常履歴の表示

手順

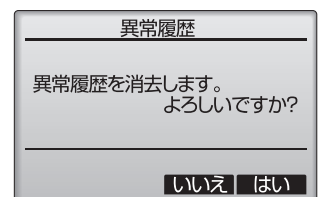
1. 点検メニューにて「異常履歴」を選択する。
2. [決定] ボタンを押す。
異常履歴を最大 16 件表示します。
各ページに 4 件ずつ表示され、1/4 ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。



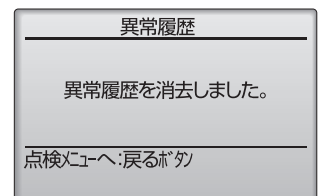
(2) 異常履歴の消去

手順

1. 異常履歴が表示されている画面で [F4] (消去) ボタンを押す。
異常履歴消去の確認画面が表示されます。
2. [F4] (はい) ボタンを押す。
「異常履歴を消去しました」が表示されます。



3. [戻る] ボタンを押す。
点検メニュー画面に戻ります。



(3) 他の点検メニュー項目 (スリムのみ)

点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。

- ・ 冷媒量判定
- ・ スマートメンテナンス
- ・ 要求コード送信

これらの項目はスリムエアコン専用です。詳細については室内ユニット据付工事説明書を参照してください。

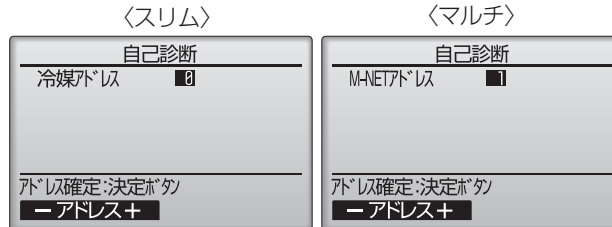
[6] 自己診断

(1) 異常履歴の検索

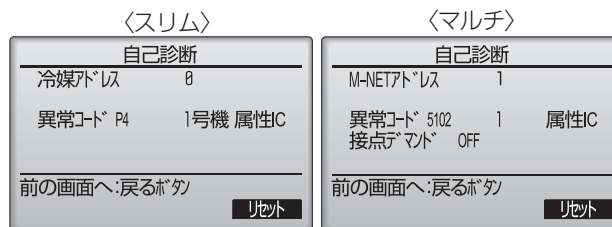
リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

手順

1. サービスメニューにて「自己診断」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
自己診断画面を表示します。



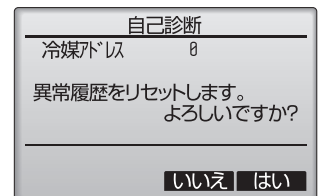
3. **[F1][F2]** ボタンにて冷媒アドレス（スリムの場合）、または M-NET アドレス（マルチの場合）を設定する。
4. **[決定]** ボタンを押す。
異常コード・号機・属性・室内ユニットの接点デマンド ON/OFF 状態（マルチのみ）が表示されます。
異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。



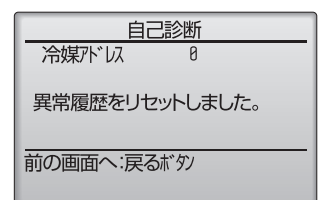
(2) 異常履歴のリセット

手順

1. 異常履歴表示中に **[F4]**（リセット）ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



2. 確認画面にて **[F4]**（はい）ボタンを押す。
室内ユニットの異常履歴を消去します。消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

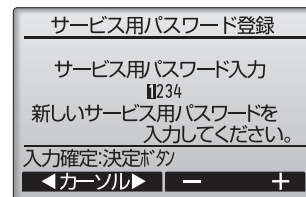


[7] サービス用パスワード登録

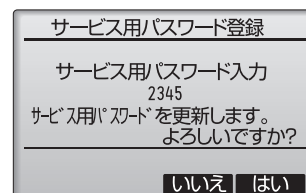
サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

手順

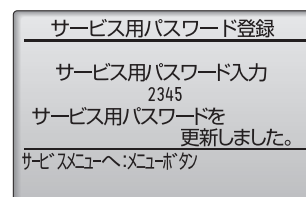
1. サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
新規パスワード登録画面を表示します。
3. **[F1]****[F2]** ボタンで桁を選択する。
4. **[F3]****[F4]** ボタンにて 0～9 の数字を設定する。
5. 4 桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押す。



6. パスワード更新確認画面が表示されます。
更新する場合は **[F4]** (はい) ボタンを押す。
取り消す場合は **[F3]** (いいえ) ボタンを押す。
パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。



7. **[メニュー]** ボタンにてサービスメニューへまたは **[戻る]** ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻る。



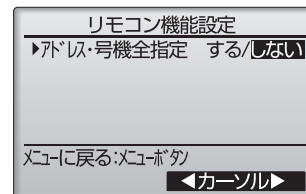
[8] リモコンの機能設定 (スリムのみ)

以下の時、本設定を行ってください。

- ・ 冷媒アドレス・号機を指定する画面で、実際に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないとき。
- ・ メンテナンスメニュー画面で "無" が表示されている項目に対して操作を行いたいとき。

手順

1. サービスメニューにて「リモコン機能設定」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
リモコン機能設定画面を表示します。



3. アドレスおよび号機の全指定「する / しない」を **[F3]****[F4]** ボタンで選択する。
4. 選択後、**[メニュー]** ボタンでサービスメニュー画面に戻る。
(工場出荷時は「しない」です。)
 - する：実際に接続されているユニットに無関係に全アドレス・全号機への設定操作が行えます。
 - しない：実際に接続されてるユニットのアドレス・号機のみに対し設定操作を行えます。

[9] リモコン設定初期化

リモコンの取扱説明書を参照ください。

4. 修理を依頼する前に

4-1. リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。
リモコン表示の有無を確認してください。(野線含む)

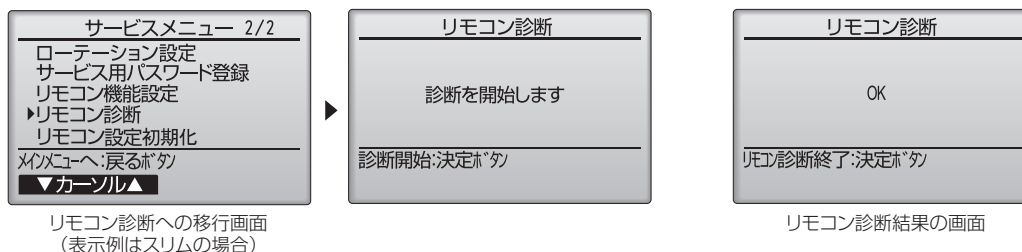
(1) リモコン表示が無い場合

リモコンに正常な電圧 (DC8.5 ~ 12V) が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。
この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

(2) リモコン表示がある場合

手順

1. サービスメニューにて「リモコン診断」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
リモコン診断を開始し、結果を表示します。
3. リモコン診断を行わない時は、**[メニュー]** または **[戻る]** ボタンを押す。
リモコン診断メニューから抜けることができます。この時、リモコンは再立上げを行いません。
4. リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押す。
リモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。



- OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
- E3、6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
- NG (ALL0、ALL1) : リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
- ERC (データエラー数) : データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。